

科目	海外ビジネス演習(英語圏)	担当	MSnyder	履修学年	2年
時間数: 90分 × 時限 × 450回(週1回)		履修区分: 選択		単位数	30単位
<p>【授業目標・到達目標】 本授業は、有機的融和と学際的な教育を目指し、「世界の動向の捉え方、各国・地域の歴史と変動の読み方を学び、共通言語に慣れ親しんで、広い活動の幅を身につける」ことを授業目標として掲げている。「海外ビジネス演習」は一年間の海外留学プログラムであり、経営学部海外留学教育プログラムの中核的な科目でもある。この授業においては、語学だけでなく、現地のビジネスマナーや商業文化などに関する体験と学習ができるようになっており、語学力の向上および国際的なビジネスセンスの修得を到達目標とする。</p> <p>【履修注意】 まずは、年度初めのオリエンテーション時の留学説明事項によく留意すること。「海外ビジネスセミナー」、および星城大学経営学部海外留学教育プログラム単位認定留学実施細則(以下、細則)で定める科目群の単位修得が履修の前提条件となっている。また、細則で定められた手続きが別途必要である。</p> <p>学修前の事前準備を十分に行い、「海外ビジネス演習」の履修後も関連科目の修得を図り、実体験をブラッシュアップして、上記の授業目標の達成に努めてもらいたい。また、留学前後に留学先に応じてTOEIC、華語文能力試験などの語学資格試験の受験が求められている。</p> <p>留学中、マンスリーレポート(海外ビジネス演習各月報告書)と留学後の総括報告書の提出が必要である。また、細則で定められた留学先発行成績証明書、出席証明などの提出も必須である。</p> <p>【評価方法】 留学中のマンスリーレポートと留学後の総括報告書をベースにして、語学検定試験の結果や留学先における学習態度、出欠と成績の状況などを勘案して、総合的に評価する。</p> <p>評価にあたっては、指導教員並びに経営学部教務委員会及び国際センター運営委員会の委員から経営学部長が単位認定評価者として指名した者各1名が協議の上評価し、30単位を一括認定する。また、「自分づくりゼミⅢ」、「自分づくりゼミⅣ」、「異文化コミュニケーション」、「異文化理解演習」、「総合ことば演習Ⅲ」、「総合ことば演習Ⅳ」、「総合英語Ⅰ」、「総合英語Ⅱ」、については、予め定められた課題の成果物に対して、当該授業科目担当者が評価を行い、本科目とは別に、合計10単位まで認定する。なお、成績評価は帰国後に、履修年度・学期にさかのぼって反映される。</p> <p>【試験について】 留学先における筆記試験や語学テストなどを受ける。 再試験対象者の条件：再試験は行わない。</p> <p>【予習・復習】 留学先での指導に従って、実施する。 なお、講義計画と内容に付き、学生に選ばれた留学先によって異なる。</p> <p>【教科書】</p> <p>【参考書】</p> <p>【その他の注意事項】 出席について：留学先の規定に従う。</p> <p>【授業計画・内容】</p>					